



2018年で100周年

国土交通省 千曲川河川事務所

Chikumagawa River Office
Hokuriku Regional Development Bureau
Ministry of Land
Infrastructure, Transport and Tourism

【取り扱い】 本資料の発表をもって解禁

記者発表資料
平成30年3月30日

平成30年度 千曲川河川事務所事業の概要について

平成26年1月に策定された「信濃川水系河川整備計画」に基づき、千曲川及び犀川において平成30年度に以下の事業を実施します。

1 河川改修関係 H30事業費：1,199百万円（工事諸費等を除く）

①洪水を安全に流すため、弱小堤区間の堤防整備を実施します。

- ・長野市 ^{やしま}屋島地区 堤防整備
- ・須坂市 ^{ふくじま}福島地区 堤防整備
- ・上田市 ^{こくぶ}国分地区 堤防整備
- ・生坂村 ^{おだつの}小立野地区 堤防整備

②堤防の浸透に対する安全度を向上させるため、堤防浸透対策を実施します。

- ・飯山市 ^{きじま}木島地区 堤防浸透対策

2 河川維持修繕関係 H30事業費：1,035百万円（工事諸費等を除く）

○千曲川及び犀川の河川管理施設等の点検・維持管理及び修繕を行います。

3 河川環境整備関係 H30事業費：162百万円（工事諸費等を除く）

^{ときわぎ}（信濃川水系総合水系環境整備事業のH30全体事業費）

○上田市常磐城地区において、砂礫河原再生及びモニタリング調査を実施します。

4 ダム事業関係 H30事業費：195百万円（工事諸費等を除く）

○既設ダムを有効活用し、治水機能の向上及びその機能維持を図る「大町ダム等再編事業」について、引き続き実施計画調査を進めます。

【配布先】

- ・長野市政記者クラブ
- ・長野県庁会見場
- ・長野市政記者会
- ・日本工業経済新聞社 長野支局

【問い合わせ先】

国土交通省北陸地方整備局
千曲川河川事務所 026(227)7611
副所長（技術） 堀内 崇志（ほりうちたかし）
調査課長 河原 武志（かわはらたけし）



千曲川河川事務所 フェイスブック

検索

クリック



千曲川河川事務所

検索

クリック



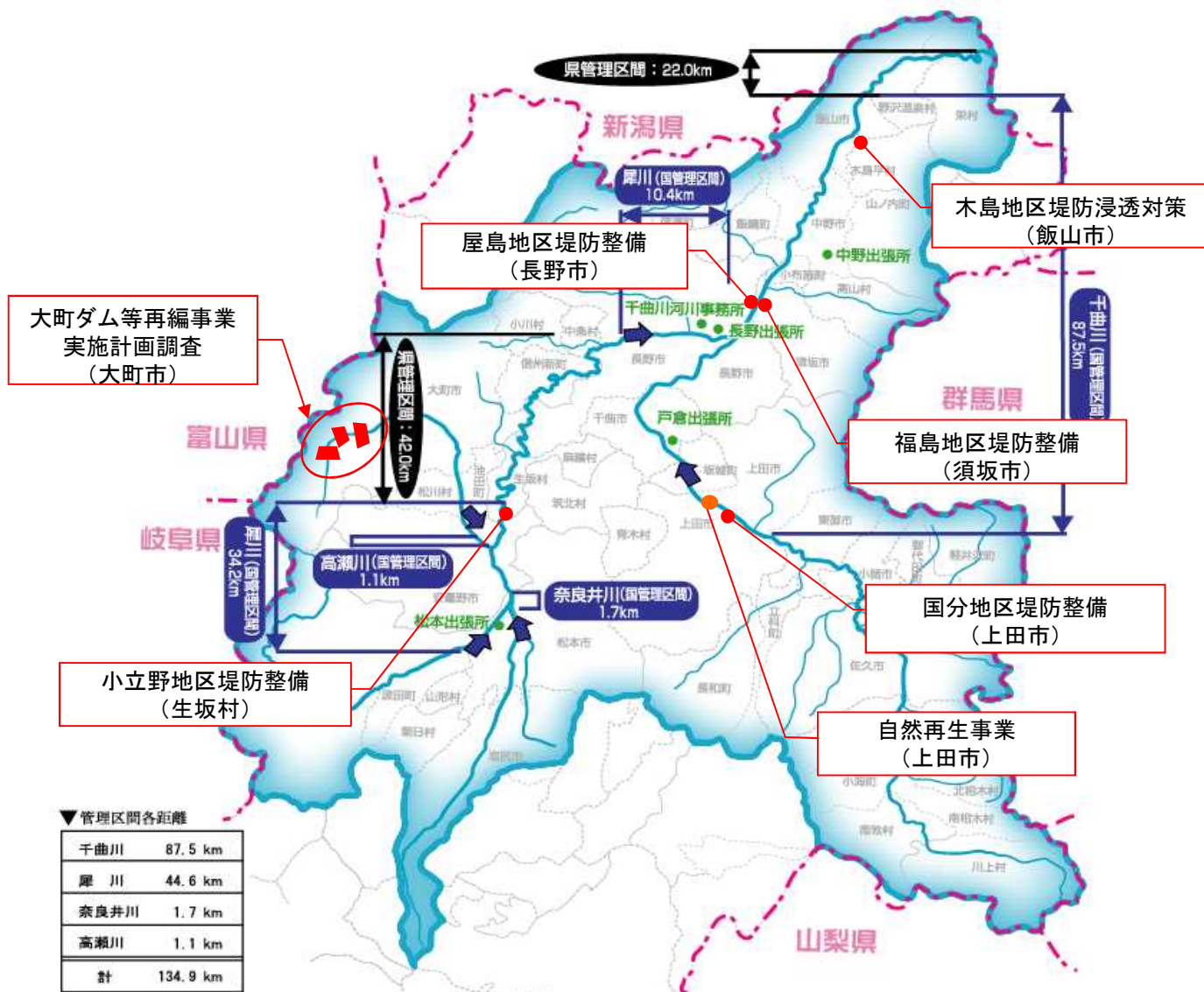
国土交通省 <http://www.hrr.mlit.go.jp/chikuma/>

1 千曲川河川事務所の事業方針

千曲川・犀川は地域の大切な宝であることを常に意識し、治水安全度の低さや豊かな河川環境、川に対するふるさとの想いを念頭に置き、地域と連携しながら以下の方針で事業を進めます。

- ◆人々の生命・財産を災害から守るために全力を尽くす。
- ◆千曲川・犀川の自然環境を大切に、詩情豊かで潤いのある川づくりを推進する。
- ◆河川の整備と管理を通じ、活力ある地域づくりの実現に貢献する。

2 平成30年度 実施予定箇所 位置図



ちくま
千曲川 堤防整備の推進
ながの やしま すざか ふくじま
長野県長野市(屋島地区)、須坂市(福島地区)

H30事業費
1,199百万円※

※千曲川河川改修事業のH30全体事業費

事業の概要

千曲川左岸の長野市屋島地区及び右岸の須坂市福島地区の堤防は、高さや断面が不足しているとともに、浸透に対する安全度が低く、洪水により堤防が決壊した場合、甚大な被害が発生するおそれがあります。

このため、洪水を安全に流すことを目的に策定した「水防災意識社会 再構築ビジョン」(※)の取組における「洪水氾濫を未然に防ぐ対策」として、堤防整備を行います。

整備効果

堤防整備により、千曲川の治水安全度を向上させます。

平成30年度の事業内容

屋島地区及び福島地区の堤防整備を推進します。



※「水防災意識社会 再構築ビジョン」

- 平成27年9月関東・東北豪雨を受け、平成27年12月10日に社会資本整備審議会会長から国土交通大臣に対して「大規模氾濫に対する減災のための治水対策のあり方について～社会意識の変革による「水防災意識社会」の再構築に向けて～」が答申されました。
- 答申を踏まえ、国土交通省では平成27年12月11日に新たに「水防災意識社会 再構築ビジョン」を策定し、全ての直轄河川とその沿川市町村(109水系、730市町村)において、平成32年度を目途にハード・ソフト対策を一体的・計画的に推進し、水防災意識社会を再構築する取り組みを行うこととなりました。
- 詳細は右記にてご覧いただけます http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo03_hh_000899.html

千曲川 堤防整備の推進

ちくま
ながの うえた こくぶ
長野県上田市(国分地区)

H30事業費
1,199百万円※

※千曲川河川改修事業のH30全体事業費

事業の概要

千曲川の右岸上田市国分地区の堤防は、高さや断面が不足しており、洪水により堤防が決壊した場合、甚大な被害が発生するおそれがあります。

このため、洪水を安全に流すことを目的に策定した「水防災意識社会 再構築ビジョン」(※)の取組における「洪水氾濫を未然に防ぐ対策」として、堤防整備を行います。

整備効果

堤防整備により、千曲川の治水安全度を向上させます。

平成30年度の事業内容

国分地区の堤防整備を推進します。

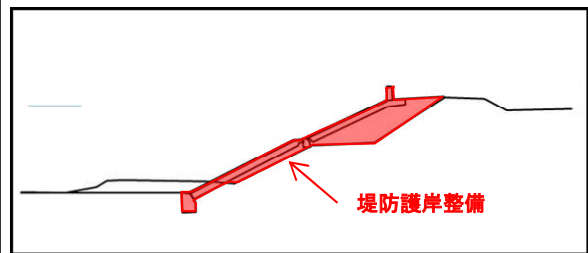
位置図



平面図



標準断面図



※「水防災意識社会 再構築ビジョン」

- 平成27年9月関東・東北豪雨を受け、平成27年12月10日に社会資本整備審議会会長から国土交通大臣に対して「大規模氾濫に対する減災のための治水対策のあり方について～社会意識の変革による「水防災意識社会」の再構築に向けて～」が答申されました。
- 答申を踏まえ、国土交通省では平成27年12月11日に新たに「水防災意識社会 再構築ビジョン」を策定し、全ての直轄河川とその沿川市町村(109水系、730市町村)において、平成32年度を目途にハード・ソフト対策を一体的・計画的に推進し、水防災意識社会を再構築する取り組みを行うこととなりました。
- 詳細は右記にてご覧いただけます http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo03_hh_000899.html

さいがわ
犀川 堤防整備の推進
ながの ひがしちくまぐん いくさか おだつの
長野県東筑摩郡生坂村(小立野地区)

H30事業費
1,199百万円※

※千曲川河川改修事業のH30全体事業費

事業の概要

千曲川支川犀川の生坂村小立野地区の右岸堤防は、高さや断面が不足しており、平成18年7月出水では氾濫被害を回避するための水防活動が行われるなど、堤防整備が急務となっています。

このため、洪水を安全に流すことを目的に策定した「水防災意識社会 再構築ビジョン」(※)の取組における「洪水氾濫を未然に防ぐ対策」として、堤防整備を行います。

整備効果

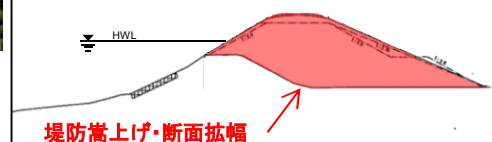
堤防整備により、犀川の治水安全度を向上させます。

平成30年度の事業内容

小立野地区の堤防整備を推進します。



標準断面図



平成18年7月出水時の状況



平成18年7月出水時の水防活動状況



※「水防災意識社会 再構築ビジョン」

- 平成27年9月関東・東北豪雨を受け、平成27年12月10日に社会資本整備審議会会長から国土交通大臣に対して「大規模氾濫に対する減災のための治水対策のあり方について～社会意識の変革による「水防災意識社会」の再構築に向けて～」が答申されました。
- 答申を踏まえ、国土交通省では平成27年12月11日に新たに「水防災意識社会 再構築ビジョン」を策定し、全ての直轄河川とその沿川市町村（109水系、730市町村）において、平成32年度を目途にハード・ソフト対策を一体的・計画的に推進し、水防災意識社会を再構築する取り組みを行うこととなりました。
- 詳細は右記にてご覧いただけます http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo03_hh_000899.html

千曲川 堤防質的整備の推進

ちくま
ながの いいやま きじま
長野県飯山市(木島地区)

H30事業費
1,199百万円※

※千曲川河川改修事業のH30全体事業費

事業の概要

千曲川の右岸飯山市木島地区では、洪水により堤防が決壊した場合、甚大な被害が発生するおそれがあります。

このため、洪水を安全に流すことを目的に策定した「水防災意識社会 再構築ビジョン」(※)の取組における「洪水氾濫を未然に防ぐ対策」として、堤防質的整備(浸透対策)の整備を行います。

整備効果

浸透対策により堤防強化が図られ、洪水に対する堤防の安全性が向上します。

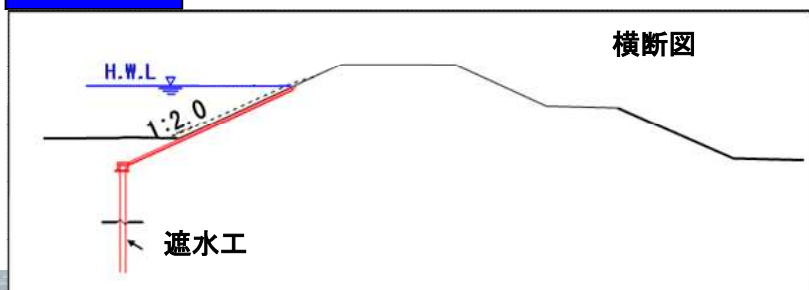
平成30年度の事業内容

木島地区の堤防整備を推進します。

位置図



標準断面図



※「水防災意識社会 再構築ビジョン」

- 平成27年9月関東・東北豪雨を受け、平成27年12月10日に社会資本整備審議会会長から国土交通大臣に対して「大規模氾濫に対する減災のための治水対策のあり方について～社会意識の変革による「水防災意識社会」の再構築に向けて～」が答申されました。
- 答申を踏まえ、国土交通省では平成27年12月11日に新たに「水防災意識社会 再構築ビジョン」を策定し、全ての直轄河川とその沿川市町村(109水系、730市町村)において、平成32年度を目途にハード・ソフト対策を一体的・計画的に推進し、水防災意識社会を再構築する取り組みを行うこととなりました。
- 詳細は右記にてご覧いただけます http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo03_hh_000899.html

ちくまがわ

千曲川

自然再生事業の推進（常磐城地区）

ときわぎ

ながの うえだ
長野県上田市

H30事業費 162百万円※

※信濃川水系総合水系環境整備事業のH30全体事業費

事業の概要

千曲川では、かつて広大な礫河原を有していましたが、河床低下によって、高水敷と低水路の高低差が拡大し、礫河原及び湿性植物群落が減少しています。さらに、アレチウリ・ハリエンジュ等の外来種が侵入・拡大し、もともと千曲川に生息する在来種の生息環境が悪化・減少しています。

本事業は、河道掘削等を行うことにより、礫河原及び湿性植物群落を再生し、景観の観点からも千曲川の魅力の向上を図ります。

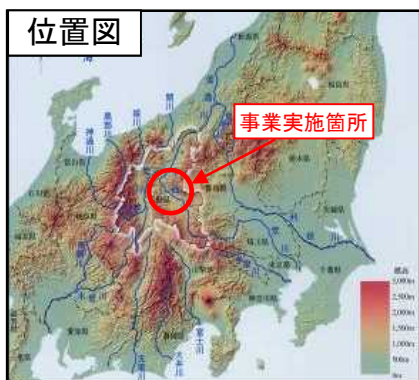
整備効果

礫河原及び湿性植物群落の再生を進めることで、河川特有の多様な生息地が形成されるほか、アレチウリ等の外来種の繁茂が抑制され、千曲川本来の自然環境の再生を図ります。

平成30年度の事業内容

常磐城地区において、礫河原の再生（河道掘削）等を推進します。

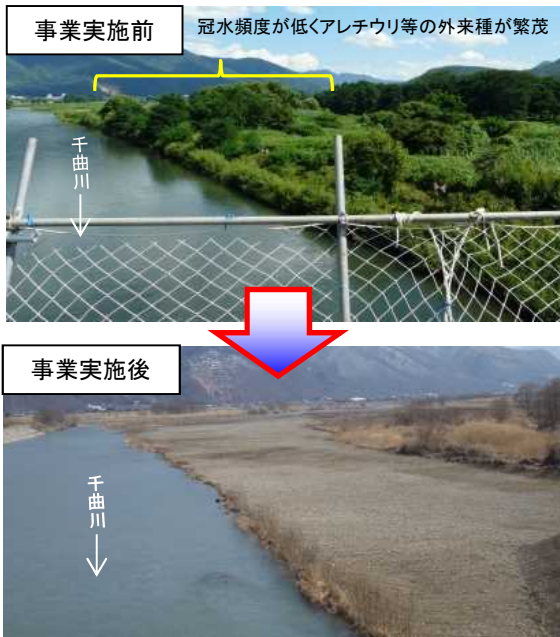
位置図



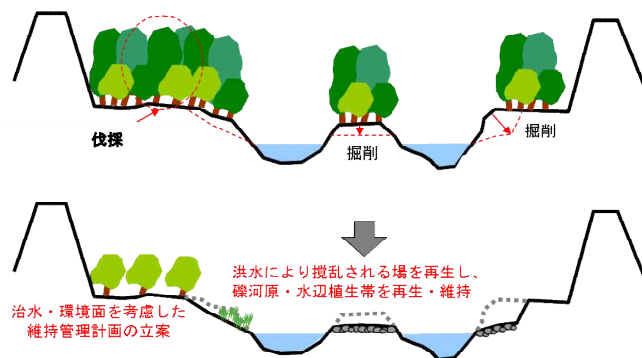
平面図



整備済み箇所



河道掘削のイメージ（冠水頻度を高める）



おおまち **大町ダム等再編事業** ながの おおまち **長野県大町市**

H30事業費 195百万円

事業の概要

本事業は、平成16年、18年と大規模な洪水により浸水被害が発生している千曲川の治水対策のため、高瀬川の既設ダムの容量を活用し、洪水調節機能を強化するもので、平成27年度から実施計画調査を進めています。

具体的には、既設の高瀬ダム・七倉ダム（発電専用ダム）の発電容量の一部と、大町ダム（多目的ダム）の水道容量の一部を洪水調節容量として新たに確保することにより、下流の洪水流量をさらに減少させるものです。

また、高瀬ダム・七倉ダムへの洪水調節機能の追加にあわせて、長期に安定的にダムの機能が確保されるよう、流入土砂対策を行うことも検討しています。

- 目的 ・洪水調節（犀川、千曲川、信濃川の洪水防御）
- 概要 ・既設ダムを活かした洪水調節機能の確保
（既設ダムの容量振り替え、土砂搬出施設の整備）
- 経緯 ・平成27年度 実施計画調査着手

平成30年度の事業内容

施設検討、環境調査等を実施します。

